

【校長室より】  
「学校教育目標」

令和7年 4月版 (HP 掲載版)

**未来の自分に ひとり一人が輝ける 生徒の育成**  
**—ふるさと新宮を愛し、誇りをもつ心を育む—**

文責 (校長) 圓 田 雅 也

— 令和7年度 新学期がスタート — (式辞より)

新3年生、新2年生の皆さん、進級おめでとうございます。

いよいよ、新年度が始まりました。気持ち新たな、その思いを忘れず、本年度も頑張っしてほしいと思っています。

さて、季節は春を迎え、日本各地で、桜が満開の状態を迎えています。本校でも桜がきれいに咲いています。この春という節目を迎えるにあたり、新しい環境に誰もが希望や期待と共に不安を感じる時期でもあると思います。君たちの中にも、少し不安を抱いている人がいるかも知れません。しかし、この不安を抱くということは、当然のことであり、ごく自然な事です。人間は、不安があるからこそ成長できます。大切なことは、この「不安」に対して、しっかりと準備をするということです。例えば、スポーツで、試合前には、対戦する相手やチームに対し、どのような試合をするかなど、ゲーム作りをします。しかし、いざ試合になってみると準備したイメージと異なることが多くあります。そんな時は、相手やチームの反応や状況を感じ取り、作戦や戦い方を変更することが大切です。しかし、準備をして無ければ、その場しのぎのプレーとなってしまう、変更することができません。準備があるから、置かれた状況を、感じ取ることができ、次の行動に移すことができるのです。この事を繰り返すことが、自分自身の成長につながります。春には、桜をはじめ、様々な花が咲き始めます。この花のように、君たちも、立派に、それぞれの「自分の花」を咲かせてほしいと思います。明日、95名の新入生が入学します。皆さんが憧れていた先輩になれるよう頑張りましょう。

本年度も、それぞれの「夢」や「目標」の実現に向けて、努力を続ける、君たちの姿勢や、さらなる活躍を期待して式辞とします。

